

令和4年度 新潟市精神保健福祉審議会 会議概要

開催日時	令和5年2月3日（金） 午後2時～午後4時
会場	新潟市総合保健医療センター 2階 201会議室
出席委員	五十嵐委員、栗原委員、鈴木委員、染矢委員、高橋委員、中村（協）委員、中村（勝）委員、松本委員、坪谷委員、村山委員、若穂囀委員、渡邊委員、和知委員 （出席13名、欠席2名）
事務局	保健衛生部長、保健所長、こころの健康センター所長、こころの健康センター所長補佐、こころの健康センターいのちの支援室長、こころの健康センター係長、障がい福祉課長
傍聴者	なし
内容	<p>【議事】</p> <p>(1) 精神保健福祉施策について</p> <p>○事務局より資料1に基づき前半部分の「依存症対策事業」、「ひきこもり相談支援センター事業」について説明した。</p> <p>○委員からの意見・質問</p> <p>＜渡邊委員＞</p> <p>トラウマやトラウマケアについて学ぶ場を設けてほしい。今後トラウマの理解が広がって様々な支援や治療の選択肢が広がってほしい。 ⇒現時点でトラウマに関して普及啓発段階には至っていないが、当センター職員が研修を受講し、市民の皆さんに一般的な普及継発をする前の準備を進めている段階である。</p> <p>＜若穂囀委員＞</p> <p>様々な問題がある中で、その人の生きづらさとか孤独・孤立の問題が1番大きな問題であるように感じる。本人からは動けない人が多い中、相談しやすい環境を作るといことが大切だと思われる。コロナ禍のためオンラインの会議などが多く、互いに携わる人達の顔が見えるようになると、各事業の活動がより活発になっていくのではないかなと思われる。</p> <p>○事務局より資料1に基づき後半部分の「精神障がい者地域移行・地域定着支援事業」、「措置入院者等の退院後支援事業」等について説明をした。</p> <p>○委員からの意見・質問</p> <p>＜坪谷委員＞</p> <p>予算が少なく、また、調査については、少人数の当事者を対象としているため全体を把握できるのかわからないように感じる。 ⇒こころの健康センターで昨年度と今年度で実施したインタビュー調査は、数よりも中身を深く聞くものであった。全体に対するニーズ調査</p>

も必要と考えているが、それについては障がい福祉課等でも行っている。今後当センターで行っているインタビュー調査の結果をみながら全体に対するものが必要ということになれば今後検討していきたいと思っている。

〈染矢会長〉

地域包括ケアシステムの構築にあたっての1番の課題は何か教えていただきたい。

⇒住まい、情報発信の方法、日中・日常の居場所の3点が課題ではないかと委員のみなさまからご意見をいただいている。

(2) 自殺総合対策について

○事務局より資料2に基づき「自殺総合対策について」説明をした。

○委員からの意見・質問

〈村山委員〉

コロナ禍の中で通常通りになってきた部分と、そうではない部分がある。コロナ前は普通に行われてきたイベントや集まりがもっと回復していくと孤立・孤独感が軽減していくように思う。

(3) 新潟市医療計画について

○事務局より資料3に基づき「新潟市医療計画について」説明をした。

○委員からの意見・質問なし。

(4) その他

○事務局より資料4に基づき「精神保健福祉法改正について」説明をした。

○委員からの意見・質問なし。